

平成25年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年3月5日

上場会社名 ゼネラルパッカー株式会社  
 コード番号 6267 URL <http://www.general-packer.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成25年3月15日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

上場取引所 大名

(氏名) 梅森 輝信  
 (氏名) 小関 幸太郎  
 配当支払開始予定日

TEL 0568-23-3111  
 平成25年4月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第2四半期の業績(平成24年8月1日～平成25年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第2四半期	2,339	17.2	66	64.0	80	85.3	56	169.6
24年7月期第2四半期	1,995	13.4	40	△31.3	43	△32.0	20	△45.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第2四半期	6.34	6.33
24年7月期第2四半期	2.38	2.36

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年7月期第2四半期	4,487	2,858	63.7
24年7月期	4,488	2,830	63.0

(参考) 自己資本 25年7月期第2四半期 2,857百万円 24年7月期 2,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	3.50	—	3.50	7.00
25年7月期	—	3.50	—	—	—
25年7月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年7月期の業績予想(平成24年8月1日～平成25年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	13.9	85	115.6	100	254.7	65	733.4	7.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年7月期2Q	8,994,000 株	24年7月期	8,994,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年7月期2Q	119,733 株	24年7月期	124,733 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年7月期2Q	8,873,914 株	24年7月期2Q	8,785,341 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期財務諸表.....	5
(1) 四半期貸借対照表.....	5
(2) 四半期損益計算書.....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報等.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかな回復の動きがみられたものの、欧州の債務危機問題や新興国経済の減速等により、景気の先行きは不透明な状況が続きしました。一方で、昨年12月に発足した新政権による諸政策への期待感から、為替相場は円安に動き株価も上昇するなど、景気回復に向けた明るい兆しも見られるようになってきました。

このような状況のなか、当社は積極的な新機種開発を推進し、新たなマーケットの開拓、新機種の拡販、海外販売の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間における売上高につきましては、高価格機種の販売台数が増加したことから、前年同期に対し343百万円の増収となりました。

収益面につきましては、売上高の増加に伴い、売上総利益は前年同期を上回りました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等の増加に伴い前年同期より増加したものの、営業利益及び経常利益につきましては、前年同期より増益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,339百万円(前年同期比17.2%増)、営業利益66百万円(前年同期比64.0%増)、経常利益80百万円(前年同期比85.3%増)、四半期純利益56百万円(前年同期比169.6%増)となりました。

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであります。単一セグメントを品目別に分類した場合における品目別売上高の概況は次のとおりであります。

給袋自動包装機は、販売台数は減少したものの高価格機種の実績が増加したことから、売上高は1,479百万円(前年同期比33.1%増)となりました。

製袋自動包装機は、販売台数が減少したことから、売上高は125百万円(前年同期比50.5%減)となりました。

包装関連機器等は、包装システムの販売実績が増加したことから、売上高は255百万円(前年同期比80.1%増)となりました。

保守消耗部品その他につきましては、消耗部品の販売実績が減少したことから、売上高は479百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

なお、当社の各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響されることとなり、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は3,563百万円となり、前事業年度末に比べて24百万円減少いたしました。この主たる要因は、現金及び預金が128百万円増加したものの、棚卸資産が126百万円減少したこと、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が14百万円減少したこと等によります。

固定資産につきましては、当第2四半期会計期間末残高は924百万円となり、前事業年度末に比べて23百万円増加いたしました。この主たる要因は、投資その他の資産が19百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前事業年度末とほぼ同額の4,487百万円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は1,542百万円となり、前事業年度末に比べて31百万円減少いたしました。この主たる要因は、前受金が151百万円増加したものの、仕入債務が245百万円減少したこと等によります。

固定負債につきましては、当第2四半期会計期間末残高は86百万円となり、前事業年度末に比べて2百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ28百万円減少し、1,628百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高につきましては、利益剰余金の増加等により、前事業年度末に比べ27百万円増加し、2,858百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における当社の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ128百万円増加し1,551百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ175百万円増加し187百万円となりました。収入の主な内訳は、前受金の増加額151百万円、たな卸資産の減少額126百万円、売上債権の減少額101百万円等であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額245百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ18百万円増加し41百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出22百万円、定期預金の新規預入による支出18百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同期とほぼ同額の28百万円となりました。これは、主に配当金の支払額29百万円等であります。

（3）業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、全体としては顧客企業の設備投資需要は比較的堅調に推移するものの、国内外での競争は厳しさを増してきており、受注環境は引き続き厳しい状況となることが予想されます。

通期の業績予想につきましては、平成24年12月4日付当社「平成25年7月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて発表した業績予想を修正しております。なお、業績予想の修正に関する詳細につきましては、本日付で発表いたしました「平成25年7月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年8月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,523,639	1,652,301
受取手形及び売掛金	1,038,728	936,864
仕掛品	437,215	361,557
原材料及び貯蔵品	384,023	333,245
未収入金	161,055	210,942
その他	42,497	68,167
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	3,587,152	3,563,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	524,245	513,037
土地	280,603	298,125
その他(純額)	11,874	11,338
有形固定資産合計	816,724	822,501
無形固定資産	11,365	9,265
投資その他の資産	73,172	92,661
固定資産合計	901,262	924,428
資産合計	4,488,414	4,487,500
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,180,409	934,596
未払法人税等	2,006	41,943
製品保証引当金	11,170	13,353
その他	380,296	552,513
流動負債合計	1,573,882	1,542,406
固定負債		
退職給付引当金	37,165	35,804
役員退職慰労引当金	46,700	50,680
固定負債合計	83,865	86,484
負債合計	1,657,748	1,628,891

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	251,577	251,577
資本剰余金	282,269	282,269
利益剰余金	2,315,090	2,340,226
自己株式	△23,266	△22,333
株主資本合計	2,825,670	2,851,739
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,457	5,736
評価・換算差額等合計	3,457	5,736
新株予約権	1,539	1,134
純資産合計	2,830,666	2,858,609
負債純資産合計	4,488,414	4,487,500

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年1月31日)
売上高	1,995,825	2,339,632
売上原価	1,485,158	1,779,724
売上総利益	510,667	559,908
販売費及び一般管理費	470,074	493,332
営業利益	40,593	66,576
営業外収益		
受取利息	694	368
受取配当金	115	115
為替差益	—	10,772
資産受贈益	960	—
その他	2,037	3,633
営業外収益合計	3,807	14,890
営業外費用		
支払利息	1,030	1,103
その他	0	0
営業外費用合計	1,030	1,103
経常利益	43,370	80,362
特別損失		
固定資産除却損	—	64
特別損失合計	—	64
税引前四半期純利益	43,370	80,297
法人税、住民税及び事業税	9,108	39,466
法人税等調整額	13,392	△15,434
法人税等合計	22,500	24,031
四半期純利益	20,869	56,266

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	43,370	80,297
減価償却費	23,308	20,056
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,500	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,410	3,980
受取利息及び受取配当金	△809	△483
支払利息	1,030	1,103
売上債権の増減額(△は増加)	290,136	101,864
たな卸資産の増減額(△は増加)	96,769	126,435
未収入金の増減額(△は増加)	30,456	△81,065
仕入債務の増減額(△は減少)	△359,815	△245,813
前受金の増減額(△は減少)	△15,369	151,757
その他	△45,591	1,173
小計	58,394	159,306
利息及び配当金の受取額	999	628
利息の支払額	△1,030	△1,103
法人税等の支払額	△45,902	△524
法人税等の還付額	—	29,586
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,460	187,892
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△118,255	△118,367
定期預金の払戻による収入	100,198	100,311
有形固定資産の取得による支出	△2,242	△22,437
その他	△1,999	△725
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,297	△41,218
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△193	—
配当金の支払額	△39,836	△29,280
ストックオプションの行使による収入	10,648	440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,382	△28,840
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	10,772
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△39,219	128,606
現金及び現金同等物の期首残高	1,484,697	1,423,328
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,445,478	1,551,934

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。